

新年のごあいさつ



蒲郡市長
金原久雄

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日ごろから市政に対するご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、2月には形原中学校南棟校舎と形原公民館が、3月には消防・救急・防災の拠点となる新消防庁舎が完成し、7月には市役所での転入時や転出時の申請などを一括して行うワンストップサービスと生命の海科学館のリニューアルオープンを行い、市民生活の向上に努めてまいりました。また、高齢者タクシー運賃・住宅リフォーム促進助成、3人乗り電動アシスト装置付き自転車貸出などの事業を行い、多くの方々にご利用いただきました。

今年は、すべての市民が健康で安全、快適に暮らすことができるまちづくりを推進していくために、将来の長期展望のもと、総合的かつ計画的な市政運営を図り、市民とともに目標に向かって進んでいくための指針を定める第四次総合計画を策定いたします。

少子高齢化、経済のグローバル化、高度情報化が進む中で、蒲郡市の10年後の都市像を「三河湾に輝く 人と自然が共生するまち 蒲郡」として、蒲郡市に暮らす一人ひとりの市民が、住んでいてよかった、住み続けたいと思えるような誇りと愛着の持てるまちを市民の皆様と築き上げていきたいと考えています。

新規事業としまして、観光交流センターの新設、南部保育園とがまごおり児童館の改築を行います。観光交流センターは、蒲郡の玄関口であるJR蒲郡駅のコンコース西に建設し、観光地のPR、物産展示や蒲郡の案内などを行います。南部保育園とがまごおり児童館は、隣接する蒲郡南部小学校と連携して地域の教育や子育ての拠点として施設の活用と充実を図ってまいります。

また、高齢者や学生の貴重な交通手段であり、社会基盤でもある名鉄西尾・蒲郡線の存続のため、西尾市とともに財政支援を行い、市民まるごと赤い電車応援団や沿線住民の方と連携して利用促進に努めてまいります。

さらには、市民生活に深刻な影響を及ぼす市民病院の医師確保・経営改善の問題、国道23号蒲郡バイパスと国道247号中央バイパスの早期開通、三河港蒲郡地区のマイナス11m岸壁の早期完成など重要な課題に取り組むとともに、産業の振興、福祉の向上や教育環境の整備など積極的に推進してまいります。

本年も、私の市政推進の基本理念であります「安心のまち蒲郡」「自然と共生するまち蒲郡」「明るく元気なまち蒲郡」の実現に向け、積極的に取り組んでまいりますので、市民の皆様には、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。